

## ムラミルジペプチド (MDP)

Cat. No. LIGC-009

Lot. No. (See product label)

## はじめに

□明 ムラミルジペプチド (MDP) は、すべての細菌に共通する最小の生物活性ペプチドグリカンモ

チーフであり、ワクチンにおけるアジュバント活性に必要な基本構造です。MDPはNOD2によって認識されることが示されていますが、TLR2、TLR2/1、またはTLR2/6の関連性では認識されません。この認識はL-D異性体に□して非常に立体特異的であり、D-DまたはL-L類似体に□する反□は除外されます。MDPの强力なアジュバント活性は、CIAS1/NALP3/Cryopyrinイ

ンフラマソームの活性化に関連している可能性があります。

*別*名 N-アセチルムラミル-L-アラニル-D-イソグルタミン (L-D アイソフォーム); ムラミルジペプチ

ド (L-D 異性体、活性); ムラミルジペプチド; MDP

製品情報

形態
凍結乾燥粉末

*CAS*登□番号 53678-77-6

分子式 C19H32N4O11

分子量 492.5

**濃度** 作業濃度: 10 ng - 10 μg/ml

**特異性** NOD2作動□

**溶解度** 水中の10 mg/ml

保管・発送情報

*保存方法* -20°Cで保管してください。再懸濁後、MDPを分注し、-20°Cで保管してください。

安定性 製品は適切に保管された場合、-20°Cで6ヶ月間安定しています。繰り返しの凍結-解凍サイク

ルを避けてください。